

中日病院
だより

CTはコンピューター断層撮影のこと。例えば肺がん検査は、被ばく線量の少ないエックス線が基本ですが、心臓に隠れて肺全体の七割ほどしか写すことができません。

CTで輪切りにして撮っていけば、心臓の裏の見えない部分まで細かく見えるし、エックス線では見つからなかった、病変の小さな早期の肺がんを見つけてくれることもできま

④9

放射線科・CT

す。

昔は輪切りの画像だけでしたが、重ね合わせて三次元の立体映像に再構築できるよう進化しています。立体映像にした手の骨を一つずつ外して骨折部分を確認したり、血管に造影剤を入れて撮影し、大動脈瘤や大動脈解離の状態を調べたり。死角の部分や早期の病変は、立体的で細かなCTでしか見つからないものも多いです。

三月下旬に機械を入れ



撮影した断面を立体に再構築できる＝名古屋市中区の中日病院で

替え、被ばく線量を抑えなら五分で済み、体の負荷が軽減されるようになりました。胸部、腹部を（花木保之放射線科技師）同時に撮影しても、検診長・談

人体輪切り 立体映像も



中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院
＝052(961)2491